

## 第5回 小浜市水道料金等制度審議会 会議録

日時 令和4年2月22日（火）

19:00～20:45

場所 働く婦人の家（咲楽館）3階大会議室

### 1. 開会

委員15名中 出席13名 欠席2名により、会議成立

### 2. 会長あいさつ

### 3. 確認事項

#### (1) 第4回会議録の確認

会議録の内容の確認 → 下記の質疑応答

→ 会議録を修正し個人名なしで市の公式ホームページに掲載

#### 【質疑応答】

委員：8ページの2つ目にある委員の質問について、私の記憶では事務局が「そういうことではない」と返答していたと思うがどうだったか。

事務局の回答は、委員の質問に対して「そのとおり」と言っているのか、「違う」と言っているのかどっちなのか会議録では分からない。

事務局：会議録については、委員からの質問も含め要約して記載しており、一言一句記載せず枕詞などは省略して作成している。その中でそういうことでのいいのかと確認の質問をいただいており、その返答を改めて確認したところ、事務局から「そういうことではなくて」という枕詞の発言があった。説明の主旨の前段部分としての発言は確かにあった。

委員：その言葉は枕詞ではない。質問に対しての回答となる場所であり、大事な部分だと思う。会議録に入れていただきたい。

事務局：会議録に「そういうことではなくて」を追記し、ホームページに公開させていただきます。

#### 4. 議事

##### (1) 水道料金等制度審議会 答申（案）について

事務局より、水道料金制度審議会の答申（案）に関する説明。

##### 【質疑応答】

会長：8ページ(2)①の2段落目「必要であり、また、下水道」の部分を「必要であります。また、下水道」のようにしたほうが文章的に良いと思う。

また、「下水道への切替工事が比較的安価で済むことが多い浄化槽設置者に」というところが分からない。各家庭で浄化槽を持っている人が多いということか。

事務局：今までの審議会で説明していなかったが、公共下水道に接続される方については、汲み取り便所から切り替えるより浄化槽からの切り替えるほうが安価な工事費で済むということである。そのため、浄化槽を設置している方を対象に、なるべく早めに公共下水道に接続してもらうようPRをしていきたいということで記載している。

会長：「安価で済むことが多い」というのは、高い場合も安い場合もあるということか。

事務局：総じて浄化槽設置者のほうが安くなるが、公共下水道に接続する場合、トイレだけでなく台所や風呂なども繋いでいただくため、建物の構造的に浄化槽を設置していても高くなる可能性があるという意味である。

会長：「安価で済む浄化槽設置者」として「多い」という言葉が不要ではないか。読みづらいため検討してほしい。

事務局：検討してみる。

委員：8ページに「遠敷地区は82.1%と低迷して」とあるが、他の地区はどれくらいなのか。また、水洗化率は平成27年度の審議会のときで86.8%だったのが、現在91.7%まで上がっているのに、「遠敷地区」と地区名まで記載する必要はあるのか。

事務局：前回の審議会の答申のときは86.8%で、今回は91.7%となっており、毎年0.5%～1%ずつ上昇している。これは公共下水道に切り替えしていただいているこ

とによるものである。遠敷地区は最後の公共下水道の整備地区であり、整備してから期間が経っておらず、切り替えが進んでいないことから、水洗化率が低い状態のため「遠敷地区」と表記させていただいた。他の地区の水洗化率は、一番高い雲浜地区などで約96%であり、小浜地区が少し低い約93%となっている。

「遠敷地区」という言葉を削除し、低いという言葉だけで記載させていただくこともできる。

委員：合併浄化槽を使用してきた方がおり、その方がまだ下水道に繋いでいないだけの関係である。下水道の担当者が繋ぐようお願いするものであって、この書き方だと遠敷地区だけが水洗化していないような印象を受ける。

事務局：文章に「遠敷地区」を入れない方向で検討したい。

委員：役所の答申を民間企業の答申と比べてみて思ったが、経営努力をすべきとか何々で率を上げるとか記載されるものではないのか。昔からこんな表現なのだと思うが具体的な数字は出てこないものなのか。

事務局：今回の答申については、審議委員のみさんから市長に対する答申となるため、具体的な政策や数値は記載せず、このようにするべきという表現で記載しており、今までの答申も同様としている。しかし、市が策定する経営戦略などの計画には具体的な数値目標を入れている。

委員：他部署の計画では、5年先など具体的な数値目標を入れているということか。

事務局：水道や下水道で策定している経営戦略には具体的な数値目標は入っている。また、他に市で策定している総合計画などに関しても、事業を行う立場として可能な範囲で数値目標を掲げている。

会長：この答申を受けて具体的なものが詳細な計画が出てくるのか。

事務局：そのとおりである。

委員：答申書の内容について、2ページの下から4行目に「同更新計画が」と記載があるが、省略せずに「水道施設更新計画」と記載し、「水道施設更新計画を」としたほうが、意味が分かりやすいのではないかと。

また8ページの3の(1)の1行目で、「収支計画において、現在予測値では令和5年度までは資金残高は1億円以上を維持できること」と記載があるが、7ページの上から6行目の令和6年度以降の説明と関連付けた記載をしたほうがわかりやすくなるのではないか。

事務局：2ページの記載について、文章が長くなることから省略していたが、記載したほうがわかりやすいため修正させていただく。

事務局：8ページの3の(1)の1行目について、指摘のとおり現在の記載では意味のとらえ方が変わってしまう可能性があるため、記載方法について再度修正させていただく。

会長：本日中では修正ができないと思うので、修正ができれば再度提示していただくということをお願いしたい。

委員：9ページの(3)下水道料金制度の見直しについて、最終行が水道事業と意味が同じでも記載方法が異なっているため、記載方法を統一したほうが良いのではないか。

事務局：承知した。「開催することが必要と考えます。」に修正させていただく。

委員：2つ指摘させていただくが、1つ目は審議会について、上水と下水を同時に審議することは非常に困難なことであると感じる。今後、審議会は別々に開催すべきである。

2つ目は他の委員からも指摘があったが、特別会計から移行して企業会計を採用したことは、事業を成功させなければいけないということであり、補助金や助成金はないものと考えなければならない。

答申内容についても、会計方法が変わったのであれば数値目標を設定した内容にすることも必要である。民間企業からすれば、目標を設定して達成できなければ赤字なるということになる。

現在の、「何年かの収支を見ながら収支計画を立てる」ということは聞いたことがない。本来であれば数値目標を設定して、経営を維持するためには何を必要があるか示した答申内容も必要である。

事務局：今回の審議会の開催については、コロナの影響もあり、開催年が同じとなったため同時開催としたが、指摘のあったとおり、同時開催は厳しいものであ

ったため、今後は別々の開催とする。

数値目標の記載については、企業会計に移行して1年目の経営数値しか分かっておらず、今回の記載方法となった。今後は2年目、3年目の収支を踏まえて収支計画や健全経営の説明をしていく。

会長：審議会の同時開催について、情報量がかなり多いことや、まったく違う性質のものを同時に審議することはかなり厳しいものがあった。審議委員の皆様も大変であったのではないかと思う。今後は、議事録にもしっかりと残し、審議会の開催を別々にしていただきたい。

委員：2ページの6行目は「事業収益の減少」になっているが、6ページの5行目は「事業収益の悪化」になっている。表現を統一したほうがよいのでは。

事務局：承知した。

委員：主体が小浜市だから、2ページの8行目「において」は「は」、2ページの9行目「策定され」は「策定し」、2ページの11行目「取り組まれています」は「取り組んでいます」としたほうがよいのでは。

事務局：この部分は審議会から出されるのでこのような表現としている。

委員：それでは、2ページの8行目「において」は「においては」としてはどうか。

事務局：承知した。

委員：5ページと8ページの徴収率の向上と8ページの水洗化率の向上について、フォントが違うので統一したほうがよいのでは。

事務局：承知した。ゴシックに合わせる。

委員：5ページと8ページで「アウトソーシング導入による民間の活力を生かした夜間徴収や電話等による催告などにより」とあるが、アウトソーシングの利点としては、「夜間徴収や電話等による催告」の二つだけか。アウトソーシング前は「夜間徴収や電話等による催告」ができていなかったように見える。

事務局：アウトソーシング前は市職員が行っていた。アウトソーシングは徴収の実績

を上げることも目的としており、専門の方がするので、主なものとして折衝対応の向上や接触機会の増大があって、民間のノウハウを活用できているという意味で書いている。

委員：それでは伝わりづらい。上下水道課は早朝も夜も現場に飛んでいくのに、アウトソーシングするまではそれをしていなかったのかと思われる。この文章では上下水道課の今までの努力はなかったのかと思えてしまう。さっきの話だと、アウトソーシング前では折衝対応が下手だったのかと思えてしまう。再考を願いたいと思う。

会長：事務局で検討願いたい。

委員：次回の審議会についてだが、5ページの上水道は「水道料金制度の義務付け」「今後も5年ごとに」とあるが、9ページの下水道は「下水道料金制度の見直し」「必要な時期には速やかに」となっている。なぜ違うのか。この前はショッキングだったが、下水道で会計方式の変更だとか、構造的な欠陥の話があったが、下水道の審議会については、令和5年度頃に一度、といていたのに記載されていない。そのことを入れたほうがいい。「必要な時期には速やかに」では曖昧だ。必要と感じる主体は誰なのかわからないし、職員がみんな異動してしまうと困ってしまうこともある。特に下水道については、料金の改定等が迫ってきているので、数字をしっかりと入れておいたほうがいい。他の委員も言われたことだが、6ページに「企業会計での決算が初めて出たところですよ」とあるが、前に事務局は、企業会計にすることで構造的に検討しなくてはいけないことがあると言っていた。企業会計になっての一年間の分析ぐらいはした方がよいのではないかと。それと、水洗化率について、他の委員も言っていたが、供用開始が早い地域は何パーセント、遅い地域は何パーセントといった、数字を入れたほうがいいと思う。あと、浄化槽設置者について、浄化槽設置者が何件あるかという数字を入れたほうがいいのではないかと。

会長：どこまで書くかはあると思うが、今の意見は具体的に数値を入れたほうがいいという意見かと思う。私も特に下水道については、このままでは曖昧過ぎると思うので、5年を目途にとか必要かと思う。

事務局：前回の審議会では5年程度後での審議会開催となっていることから、今回は

6年後になったが、今回は5年以内で必要な時期にという意味で「必要な時期には速やかに」と書かせてもらった。具体的に3～5年とするか、何年とするか検討する。

委員：7ページの6行目には「令和6年度で1億円を割り込み令和7年度にはマイナスになる見込みであり、事業経営が立ち行かなくなることが予測されます」とあるということは、その1～2年前には検討しなくてはいけないのではないか。事務局から2年後ぐらいに審議会開催と聞いたのだが。数字は書けないのか。

事務局：令和5年度とするとその年に審議会をしなくてはいけないとなってしまうが、2～3年の決算値を見て、今後の経営状況が今の見込みほど悪くないのであれば、3～5年後と幅を持たせるべきかと思う。  
現在では、令和5年度となるが、具体的に令和5年度と書くか、5年以内と書くかといったことを検討させていただきたい。

会長：具体的な数値を入れることができるということか。

事務局：そうである。

会長：各委員からの意見の反映については、どのようにするか。

事務局：今回のご意見を反映して最終案として各委員に送る。その時ご意見をいただく形をとる。了承が得られたらそれを答申案と考えて、会長と相談して答申書とする。

会長：今回で確定するわけではないので、意見をもとに事務局で最終案を作成して各委員に送付して、最終確認をして意見をもらい、それを私と事務局で答申書とする。答申は年度内なので、3月上中旬には答申書ができるような形でよいか。

事務局：今週の金曜日までには最終案を委員に送付して、来週中に意見をいただいて答申案ができればと考えている。

会長：その形で市長に答申案を出してほしいと思う。

## 6. その他

事務局から追加資料 No.1～No.4-2 の説明

### 【質疑応答】

会長：「水道事業会計の審議結果と答申内容」「下水道事業会計の審議結果と答申内容」については、次回審議いただく際の資料になる。タイトルを令和3年度といったような、今回の審議会です出したことがわかることを入れていただきたい。

事務局：承知した。

委員：市では、審議会と答申は詳しく計画されて運用されているが、個々の話をさせてもらいたい。次の審議会までに項目として検討してほしい。

上水は収益がいいが、毎月検針をしている。もっと安い福井市や敦賀市は二か月に一度だ。毎月1万件近いところ検針しているので、何百万という経費が余分にかかっているのではないか。細かいことかもしれないが、こうすれば効果がこれだけあるんだということで、次回の審議会の中で審議いただきたいと思う。

次に水洗化率だが、公共下水は農業集落排水より5%は低い。5%上げれば農業集落排水なら何十万と収益があがる。言葉だけだと曖昧になってしまう。期間と目標値を決めてやらないとだめだと考えている。

農業集落排水地域では、コストが高いため新たに浄化槽を設置する方がいる。市も加入を進めるため、新たに制度をつくるといったことを考える必要があると思う。

次回の審議会では前回の審議会です出した答申に対して、どんな検討をしてどんな結果であった、どんな効果があったということに答えていく必要があると思う。一つ一つは小さいかもしれないがやっていってほしい。

収支計画を見ると、農業集落排水についても、委託費、修繕費、人件費部門が大きく、計画期間中、一定になっている。人口が減っているのに、委託費、人件費の一定はおかしい。減らしていくべきでは。民間では毎年2～3%のコスト削減をやっている。非常に厳しいことかもしれないが、それをしないと付き合いを切られてしまう。長期計画ならそういうことと思う。民間と比較して思う。ぜひ検討してほしい。

会長：意見としてこのような問題があるということで、市には反映してほしいと思

う。

7. 閉会